

寒くなるこれからの季節、特に注意が必要です

気をつけましょう 冬場の火災予防

冬に入り、ストーブなどの暖房器具を使う機会が増えます。取扱いには十分に注意して火災予防に努めましょう。

暖房器具・防火のポイント

- ▼外出時や就寝時は必ず火を消す
- ▼洗濯物など燃えやすいものの近くで使わない
- ▼給油時は完全に火が消えてから行うとともに、灯油であることを確認する

とを確認する

▼屋根からの落雪で煙突を破損しないよう対策をとる

▼寝たばこは絶対しない

▼住宅用火災警報器と住宅用消火器を設置する(点検も忘れない)

特に注意を！スプレー缶やガスボンベの取扱い

スプレー缶やカセットこんろ用ガスボンベをストーブのそばに放置し、過熱で破裂。中から噴出した可燃性ガスに引火し爆発する事故がよくあります。

ストーブの前には絶対にスプレー缶などを置かないことと、火の気のある場所での使用はやめましょう。



問合先 予防課 ☎32-33027

もしも長時間停電したら…その時のポイント!

●高山防災ラジオ

高山防災ラジオは、停電時でもラジオ本体の充電池によって利用することができます。しかし、長時間停電すると、ラジオ本体の充電池が切れてしまいます。この場合は、電源コードを抜いてから、市販の乾電池を入れることで一時的にラジオが使えます。

- 取扱方法**
- ①コンセントから電源コードを抜く
 - ②本体裏側の充電池交換用ふたを外す(プラスドライバーが必要です)
 - ③充電池を外し単三乾電池3本と入れ替える

なお、停電が復旧した時に、この状態のままで電源コードを差し込むと、乾電池が液漏れし、本体が故障する場合がありますので、停電時のみの対応としてください。

問合先 高山電機商業組合加盟店の取扱店
または 危機管理室 ☎35-3345

●水道管やボイラーなど

電熱ヒーターが巻かれている水道管やボイラーは、冷え込みが厳しい時に長時間停電すると、管内が凍結し破裂する恐れがあります。

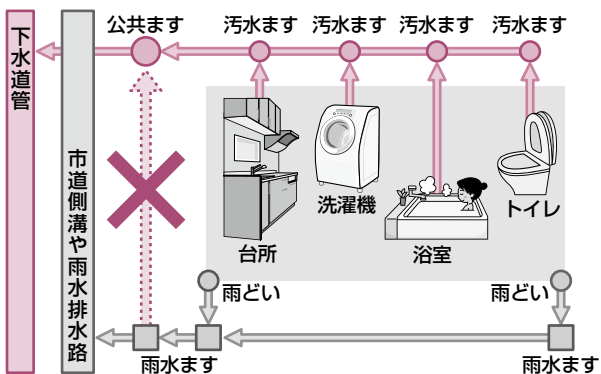
停電が長引く場合は、水抜きをするか、少量の水を流しておくとか破裂が防げる場合があります。

問合先 指定給水装置工事事業者
または 上水道課 ☎35-3149

雨水(雪)は正しく排水されていますか

※ 修繕工事が必要な場合は、資格を持った市の下水道指定工事店へ相談してください。

※ 宅内の下水道ますや道路上のマンホールの蓋を開け、雨水や雪、異物を下水道管に流すことは、処理施設に負担をかけたり、交通に支障が生じるなど大変迷惑な行為なのでやめましょう。



高山市の下水道は「分流式下水道」という方式を採っています。これは、台所やお風呂、トイレなどの生活排水のみを「汚水」として下水道管に流し、建物や敷地に降った雨(雪)は下水道管に流さず、市道側溝や雨水排水路に流すものです。

雨水などが下水処理場へ流れ込むと、流入量が増えて汚水の処理が困難となり、道路上のマンホールから汚水があふれたり、施設が故障して下水道を使用できなくなる場合があります。

問合先 下水道課 ☎35-3150

下水道に雨水や雪が入らないようにしましょう

みなさんの宅内で雨どいなどが誤って下水道管につながっていたり、破損した宅内排水設備(ますや蓋など)があると、雨水の流れ込む原因となります。ご家庭や事業所の宅内排水設備の点検をお願いします。